

【公表】 事業所における自己評価結果

公表日 令和 6 年 11 月 1 日

事業所名		児童ルームたちキッズ鳥栖中央				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動によって机を移動させてながらスペースの確保を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用者の状況に合わせて職員の配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	スロープの必要な児童はいないため問題は無いと思われる。	今後必要に応じては、検討し対応しなければならない。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清潔を保ち、机の配置等を変更し、過ごしやすい空間となるよう心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個室は無いが、パーティション等で環境作りを行っている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	目標設定を行い計画に沿った行動を行っている。	個々に常に目標を意識して業務に取り掛かると質の向上につながる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表や保護者面談を行い業務改善に努めている。	話しやすい雰囲気づくりを心掛け、保護者様に寄り添った支援を考えていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	必要に応じて話し合いを行い、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者評価は行っていないが、常に業務改善へとつながるよう意識して行動している。	今後、第三者による評価を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	カリキュラム化された所内研修や教育研修規程に則った所外研修へも参加できている。	研修を受けやすくする為に受ける日はスタッフの配置等、前もって考えなければならない。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HP上に公表されている。	5領域に関連付いた支援プログラムを作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントを行い、ニーズや課題を分析したうえで作成されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画書の作成後、その計画が子どもの最善の利益が考慮されているかどうかの検討会議を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画は職員間で共有し、その計画に沿った支援が行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化ツールよりもインフォーマルなアセスメントを使用して日々の成長を確認することが出来ている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	利用者の必要な支援内容を考え、個別・集団療育を行っている。ガイドラインに沿った支援内容が設定されている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ミーティングや朝礼時に話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	週ごとに内容を変えたり、企画書を見直している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者の状況に応じて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼時に必ず確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	その日のみではなく翌日にも行い共有している。 申し送りノートを活用し共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	ケース記録を取り、検証、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的に行われている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	「4つの基本活動」の中の「地域交流の機会提供」以外は複数組み合わせで行えている。	組み合わせはいるが「地域交流活動」に関しては不十分な状況の為、今後検討を行いたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自由活動の時間では自主性を軸としながらの支援を行えている。 自己決定が出来る環境設定をしている。	
関係機関や保護者の連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理者をはじめ、直接支援を実施している職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	直接的ではない場合は、保護者様を介して行っている。	今後交流する機会を増やしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校へのお迎え時やその他適宜電話連絡等を行い実施できている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	園からのケースは少ないが、児童発達支援との情報共有は十分に出来ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	まだそのケースは経験していない。	今後そのようなケースがあった場合にはしっかりと情報共有していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	自治体の「子ども部会」へ参画している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	コロナ等の影響の流れから行っておらず、現状は難しい。 十分に機会を設けられていない。	以前より外出する機会も増えたので、今後地域交流について検討していきたいと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	「子ども部会」へ積極的に参加できている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡帳、電話等にて共通理解に努めている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者面談時や毎送迎時に行っている。	保護者交流会や研修の機会を設け、情報提供できるよう努めていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行い、不明な点はその都度お伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	意向を確認し、用紙を用いて行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	悩みや相談を受けた際、助言を行った後に職員間で情報共有を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者交流会を行い、きょうだい同士の交流の機会を設けている。	もう少し保護者様同士の交流の時間を交流会で設けていけたらと思う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	上司に報告し、職員間で情報共有して適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	お便り、HP、マチコミで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	行えている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言語コミュニケーションや非言語的コミュニケーションを組み合わせることで配慮している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		十分には出来てないが機会があれば検討していく。	
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	会社にてマニュアルを策定しており、いつでも誰でも閲覧できるようにしている。保護者様へは契約時に避難場所などの説明を行い、発生を想定した訓練を子どもたちを含めた状態で実践できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCP策定及び自然災害、感染症共にBCP研修、訓練を定期的に実践できている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者様への聞き取りやフェイスシート等で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	指示書がある場合、コピーを取り職員間で内容を把握している。	今後も保護者様に確認は行っていかねばならない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画は策定しており、定期点検項目、訓練項目等に沿った必要な措置を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	共有し、再発防止についても話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	委員会を通して行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			